

平成17年度

# 所信表明



いなべ市長  
日沖 靖

いなべ市が誕生して2年目を迎えるにあたり、新年度に向けての所信を申し上げます。

## 【安心から飛躍のための礎を築く年へ】

昨年は合併初年ということもあり、合併による大きな変化は避け、旧4町が進めてきた制度や事業を引き継ぎ、まず、みなさんに安心していただくことに努めてまいりました。今年は2年目、統合できるものから徐々に統合を試み、いなべ市が将来大きく飛躍できるための礎を築く年となるよう努力いたします。

もちろん、地域のみなさんが築いてこられた伝統や文化を尊重し、その地域が一丸となって取り組む事業を支援し、活力ある地域づくり、特色ある地域づくりを進めます。

## 【市民が主役のまちづくり】

まちづくりは市民のみなさんが主役であり、当事者です。できるだけ多くのみなさんに参画いただけるよう情報の公開や広聴広報を充実させ、市民のみなさんと専門家が共に知恵を出し合う、市民が主役のまちづくりを進めます。

## 【顧客満足度の向上】

近年、高い評価をうけている企業や組織はすべて、お客様のニーズを的確に捉え、お客様からの苦情を改善に結びつけ、常に自己変革しています。いなべ市役所も職員一人ひとりが顧客のニーズを把握し、考え、行動し、評価し、改善できる組織をめざします。

具体的には、職員研修を充実させ、顧客の満足度を高めるとともに、基本的な業務を標準化し、コンピューター上の掲示板（ポータルサイト）を利用することにより、職員誰もが必要最低限の均一なサービスを提供できるよう工夫します。

また、昨年5月から各庁舎に設置しました総合窓

口課は、一般的なことは部署を移動する必要がなく、その場で片付くと好評をいただいています。職員全員、さらに研修を重ね、お客様に満足いただけるようサービスの向上に努めます。



総合窓口課

次に、財政状況と平成17年度当初予算について説明します。

## 【財政状況】

国と地方自治体を合わせた借金は7百兆円を超え、政府は財政の再建や行政機構の改革を重視した政策に転換しています。「民間にできることは民間に」「地方にできることは地方に」を旗印に、公共事業の削減と三位一体の改革（補助金の削減、税源の移譲、地方交付税改革）を進めています。

いなべ市もその影響を大きく受け、地方交付税や保育園運営補助金など、国からの歳入が大きく削減